

出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る取組実績・目標(個票)

NO.	1
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-1 産学官金連携の推進
目標項目	産学官連携による共同開発件数 【R3年度目標値】6件 ⇒ 【R3年度達成値】7件
成果指標	産学官連携による共同開発件数と開発商品の販売状況(島根大学から情報提供) 【R4年度目標値】6件
現状と成果	共同開発件数は7件となりましたが、商品化に至ったものではありませんでした。 ※市が関与するマッチングは0件
評価段階	達成状況
5	共同開発件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが5件以上であった。
4	共同開発件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが2件以上であった。
3	共同開発件数の目標を上回った。
2	共同開発件数の目標の5割以上だった。
1	共同開発件数が目標の5割未満だった。
課題と対応	市販可能となった商品の販路拡大、PRIについて、中海・宍道湖・大山圏域市長会 医工連携協議会などとも連携しながら支援を行います。

NO.	2
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-5 IT産業の活性化
目標項目	市内ソフト系IT企業雇用者数 【R3年度目標値】30人増 ⇒ 【R3年度達成値】47人増
成果指標	IT産業従事者の増加 【R4年度目標値】30人増
現状と成果	47人の増加となり、成果指標である30人を上回る結果となりました。 ※売上高は約8億円で前年比18%増
評価段階	達成状況
5	従事者数の増加人数が目標を大きく上回り、売上高が前年比20%以上増加した。
4	従事者数の増加人数が目標を上回り、売上高が前年比10%以上増加した。
3	従事者数の増加人数が目標を上回った。
2	従事者数の増加人数が目標の5割以上だった。
1	従事者数の増加人数が目標の5割未満だった。
課題と対応	各企業ともに従事者の採用意欲があり、順調に従事者は増えていくものと考えます。今後もIT企業への支援策を継続していきます。

NO.	3
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-3 販売拡大の推進
目標項目	出雲ブランド商品認定数 【R3年度目標値】 3件 ⇒ 【R3年度達成値】 1件
成果指標	商品認定数の増加 【R4年度目標値】 3件
現状と成果	認定数は1件(申請件数は3件)となりました。
評価段階	達成状況
5	商品認定数の目標を大きく上回った。
4	商品認定数の目標を上回った。
3	商品認定数の目標と同数だった。
2	商品認定数の目標の5割以上だった。
1	商品認定数が目標の5割未満だった。
課題と対応	市内には優れた商品が未だ多くあるものと考えており、それらを掘り起こし、「出雲ブランド商品」に申請していただけるよう促していく必要があります。

NO.	4
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-1 県外学生・UIターン就職希望者の市内中小・小規模企業への就職支援
目標項目	UIターン就職支援窓口相談者数 【R3年度目標値】 500人 ⇒ 【R3年度達成値】 338人
成果指標	UIターン就職支援窓口相談者数 【R4年度目標値】 500人
現状と成果	コロナウイルス感染症拡大の影響により、県外での相談会が中止となったことなどから、数を伸ばすことができず338人となりました。
評価段階	達成状況
5	UIターン就職支援窓口への相談者数が600人を上回った。
4	UIターン就職支援窓口への相談者数が550人を上回った。
3	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標を上回った。
2	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標の5割以上だった。
1	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標の5割未満だった。
課題と対応	関係部署と連携を図り、相談者を掌握するとともに、オンライン移住相談会などを通じて、UIターンの就職相談に対応していく必要があります。

NO.	5
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-2 市内中小・小規模企業の人材確保支援
目標項目	高校卒業予定者(就職希望者)の県内就職率、市内就職率 【R3年度目標値】県内78% 市内70% ⇒ 【R3年度達成値】県内83.0% 市内66.3%
成果指標	高校卒業予定者(就職希望者)の県内就職率と市内就職率 【R4年度目標値】県内78% 市内70%
現状と成果	県内就職率が83.0%と目標値を上回りましたが、市内就職率は目標値を下回り66.3%となりました。
評価段階	達成状況
5	県内就職率・市内就職率ともに目標を達成している。
4	市内就職率の目標を達成し、県内就職率が75%を上回っている。
3	市内就職率の目標を達成している。 ※ほぼ達成(目標を3.7%下回る)
2	市内就職率の目標を5%以上下回っている。
1	市内就職率の目標を10%以上下回っている。
課題と対応	今後も同水準を維持するため、高等学校・中学校への県内就職に向けた取組を引き続き実施していく必要があります。

NO.	6
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-2 市内中小・小規模企業の人材確保支援
目標項目	職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数 【R3年度目標値】100人 4回 ⇒ 【R3年度達成値】66人 3回
成果指標	職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数 【R4年度目標値】100人 4回
現状と成果	セミナーを3回実施、受講者数が66人となりました。なお、コロナウイルス感染症拡大の影響により、1回中止しました。
評価段階	達成状況
5	受講者数・実施回数ともに達成している。
4	実施回数の目標を達成し、受講者数が90人を超えている。
3	実施回数の目標を達成している。
2	実施回数が2回以上で、受講者数が70人を超えている。
1	実施回数が2回以上である。
課題と対応	コロナウイルス感染症対策を行いつつ、参加者の要求に応えられるような研修内容を検討して実施していく必要があります。

NO.	7
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-3 子ども・若者への魅力発信
目標項目	いずも産業未来博の体験型企画参加人数 【R3年度目標値】9,000人 ⇒ 【R3年度達成値】10,500人
成果指標	未来博の体験型企画参加人数 【R4年度目標値】9,000人
現状と成果	コロナウイルス感染症対策を徹底して開催し、目標を上回る10,500人の参加がありました。 ※来場者アンケートの結果、約93%の方から市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答を得ました。
評価段階	達成状況
5	参加人数の目標を達成し、来場者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が90%以上ある。
4	参加人数の目標を達成し、来場者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が80%以上ある。
3	未来博の体験型企画参加人数(累計)が目標を達成した。
2	未来博の体験型企画参加人数(累計)が目標を達成していない。
1	未来博を中止した。
課題と対応	コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえたイベントにするため、飲食ブースの設置の可否などを検討していきます。

NO.	8
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-4 経営者の意識・行動改革と多様化する働き方への対応
目標項目	ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催回数 【R3年度目標値】5回 ⇒ 【R3年度達成値】8回
成果指標	市が実施するワーク・ライフ・バランス研修実施回数 【R4年度目標値】5回
現状と成果	企業向け出前講座として8回実施しました。参加者数は141人でした。
評価段階	達成状況
5	5回以上
4	4回
3	3回
2	2回
1	1回以下
課題と対応	働き方改革や女性活躍など企業の関心を一層高めるため、引き続き企業向け出前講座の周知を行い実施企業数を増やしていくことが必要です。

NO.	9
基本方針	3 円滑な事業承継支援と創業支援
推進施策	3-2 事業承継の支援
目標項目	事業承継セミナー参加者人数 【R3年度目標値】 130人 ⇒ 【R3年度達成値】 85人
成果指標	事業承継セミナー参加者人数 【R4年度目標値】 130人
現状と成果	コロナウイルス感染症拡大の影響により、2回の開催とし、受講者数85人となりました。 ※参加者アンケートの結果から、約77%の方から参考になったとの回答を得ました。
評価段階	達成状況
5	参加者の目標を大きく上回り、かつ80%以上の参加者の知識向上につながった。
4	参加者の目標を大きく上回り、かつ50%以上の参加者の知識向上につながった。
3	参加者の目標を上回った。
2	参加者の目標の5割以上だった。
1	参加者の目標の5割未満だった。
課題と対応	コロナウイルス感染症対策を考慮しつつ、引き続き商工団体と連携してセミナーを開催して啓発に努めていきます。

NO.	10
基本方針	3 円滑な事業承継支援と創業支援
推進施策	3-2 創業者の支援
目標項目	創業者数(商工団体、NPO法人21世紀産業支援センター、市で支援を行った者) 【R3年度目標値】 40人 ⇒ 【R3年度達成値】 57人
成果指標	創業者数(商工団体、NPO法人21世紀産業支援センター、市で支援を行った者) 【R4年度目標値】 40人
現状と成果	創業のための準備段階から事業化前の段階までセミナーの開催や情報発信などを行い、創業につながった支援者数が57人となりました。 ※創業塾参加者34人中、8人(24%)が創業されました。
評価段階	達成状況
5	創業者数の目標を上回り、かつ創業塾参加者の5割以上が創業した。
4	創業者数の目標を上回り、かつ創業塾参加者の2割以上が創業した。
3	創業者数の目標を上回った。
2	創業者数の目標5割以上だった。
1	創業者数の目標の5割未満だった。
課題と対応	創業塾については、創業希望者のニーズを把握し、参加しやすい内容を検討するとともに、商工団体等と連携し、参加者増を図っていきます。